サイロ

①学校名
〔木白〕小学校・中学校

②学年
〔　1　〕年

③名前（ふりがなも書く）
〔尾崎千紘（おざきちひろ）〕

題〔はのちはひとつ〕

がっこうからかえったら
ねこしんがうしかねくなっちまってた
きょうは草かりだったんだって

みんないのちなのに
かわいそうだな
きもちがしょんぼりしちまったんだ

でもねのびたところをきったげな
なんだってそれってかみのけやつめをきるみたいなことだってはもったよ
なあんだほっとしたよ

④答を書いたら、次の方法で、サイロの会へ届けてください。
①担任の先生におねがいする。
②サイロの会に郵送する。
〒080-0012
帯広市西2条南9丁目6
サイロの会事務局行
③六花亭のお店の人にわたす。
（どの六花亭のお店でもOKです。）

【詩を書く時には】
①五感を生かす。
・目で見たこと
・耳できいたこと
・香りや匂い
・肌や舌ざわり
・手や肌で感じたこと

②一番思い出に残っている場面に注目する。
③短い言葉で、リズムよく書く。
④「まるで～のように」「～みたいな・・・」など、たとえる表現を使う。
（例）雨が、雨のように降ってくる
・なべみたいなおふろ

⑤気持ちを、ちがう言葉で表現する。
（例）悲しい→（涙がどんどんあふれてきた
うれしい→（ほっぺたがおちそう）
・ぼくは夢中になって友達と遊んだ楽しい気持ちを表わす

⑥題名を工夫する。（最後につけるとよい）

☆書き終わったら…
・一度読み返して、文字のまちがいなどがないか、たしかめよう。
・友だちに読んでもらって、よいところなどをきいてみよう。